

【2, 3年生進路講演会】

5月13日、本校の2・3年生を対象に、作家・英語教師として幅広くご活躍されている木村達哉氏をお招きし、進路講演会を実施いたしました。

今回の講演では、「なぜ勉強が必要なのか」「幸せに生きるために何が必要か」という、生徒たちが日々向き合っている根源的な問いに対して、大変熱く、そして深く考えさせられるお話をいただきました。



「限界への挑戦と、人を幸せにする力」

講演の中で木村氏は、「自分の能力がどこまで伸びるか、見てみたくないか？」と生徒たちに力強く語りかけました。勉強とは、決してやらされるものではなく、自分自身の可能性を広げるための「自己への挑戦」です。

「できることを増やすためには、勉強するしかない」

この言葉には、ただ知識を詰め込むのではなく、自分をアップデートし続けることの重要性が込められています。そして、そうやって培った自分の能力は、「誰かの役に立ち、人を幸せにして笑顔にする」ために使うことができるのだというメッセージに、多くの生徒がハッとさせられ、真剣な眼差しでメモを取っていました。

「2050年問題」と英語を学ぶ意義

また、「なぜ英語が必要なのか」という実践的なテーマについても、具体的な社会の未来予想図を交えてお話しいただきました。

日本の人口減少や高齢化がピークを迎えると言われる「2050年問題」。生徒たちが社会の第一線で活躍するこの時代において、国内の枠に留まらず、海外でも活躍できる自分を創り上げることは極めて重要です。英語は、そのための強力なツールであり、自分の世界と可能性を大きく広げてくれるものであると再認識させられました。



「人生をデザインするための進路選択」

最後に、目前に迫る進路選択について、「大学や学部を選択を、単なる進学先選びで終わらせず、自分の人生そのものを深く考える機会にしてほしい」というエールをいただきました。今回の講演は、日々の学習が自分の未来、そして社会の誰かの笑顔に直結していることを実感できる、大変貴重な時間となりました。この講演で得た気付きと高いモチベーションを胸に、2・3年生の皆さんが自身の限界に挑み、自らの進路を切り拓いていくことを期待しています。

木村先生、熱意あふれる貴重なお話を誠にありがとうございました。